



福岡県立糸島農業高等学校
～「いのち」に学ぶ～
TEL 092(322)2654
FAX 092(323)5924

生徒会・農業クラブ新体制でスタート!

これからの新しい糸農が楽しみです!



生徒会長
衛藤奈々(前原西中)
私たち生徒会では、次のことを生徒会活動の中心におき、今後の活動に反映させたいと考えています。それ

れは「思い出をたくさん残せる学校づくり」です。体育祭や糸農祭などの多くの生徒会行事を、より良いものへと発展させます。もちろん、大変なことも多くなると思いますが、みんなで協力し合い、課題を乗り越えてもらいたいと思います。そして、これを成し遂げたときには、素晴らしい思い出ができるかと確信しています。「生徒同士が支え合い、楽しい高校生活を送ることができ、そんな学校を目指します。この一年、二十二名の生徒会役員は一致団結し、生徒会活動に取り組んでいきますので、ご期待ください。」



農業クラブ会長
西木紀(前原東中)
私は、入学してからすぐ農業クラブ役員として農業鑑定競技やプロジェクト発

表などの各種大会、糸農祭などいろいろなイベントでの経験を重ねてきました。その中で先輩方のように様々な行事に全力で取り組み、学校全体を盛り上げていきたいと思っています。糸農が元気ならば、糸島の農業や地域社会も盛り上がるかと考えていますので役員17名一同、努力していきます。また、地域イベントへの参加も積極的に呼びかけ、地域と糸島農業との繋がりを大切にしていきます。このような取り組みを行い、地域に根ざした高校を創っていききたいと思います。

糸農HPへようこそ!



同窓会主催 海外研修 ニュージーランド

2018・12・26～31

2年1組 柴崎幸太(城西中) 農業に関して。三つの日本との違いを見つけました。一つ目は食味の違いで、ニュージーランドのイチゴは真っ赤で甘酸っぱく少し野菜のようでした。二つ目は栽培方法の違いで、日本のイチゴは施設栽培がほとんどですが、現地では露地栽培が中心でした。理由を尋ねると露地栽培を行うことで太陽の光がより当たり美味しく育つと考えられているからです。三つ目は経営についてで、雇用型農業経営が多く、たくさんの方が雇われて生産活動を行っており、農業に関して全くの初心者でも簡単に学びながら収入を得ることが出来ます。日本でも農業の後継者不足が深刻化しているので学ぶものが多いと思いました。



2年2組 濱原流真(西福岡中) 私は文化の違いを互いに尊重しながら生きることが学びました。ニュージーランドは色々な国から移住や留学などが盛んに行われ、文化の違いにより喧嘩がよく起こるそうです。しかし、喧嘩の後にみんなでルールを決めて互いを尊重しながら生活しているそうです。このように互いの文化を尊重しあえるように、もっと世界に目を向けて情報を取り入れていくことが重要だと思いました。研修で感じたことや学んだことを大切に、広い視野をもって今後の生き方を考えていきたいと思います。



農業経済科主催農産物販売会

販売会を通じて、お客様の生の声、アドバイスから様々な改善点を見つけることができました。この経験はとても貴重なものばかりです。学校生活だけでは学べないことも知ることができたので、今後の学校行事では私たちが中心となって取り組み、この経験を活かしていきたいです。



思い出いっぱい 修学旅行!

修学旅行が1月14日～17日に実施され、見慣れない雪景色に感激し、観光でもたくさんの素敵な笑顔を見せてくれました。

長野でスキー・スノーボード研修
東京でアイスランドでホスピタリティ研修



予定時間を守ることを、調べることを、感謝の気持ちをしっかりと伝えることを学びました。(抜粋) **2年2組 布野真義(百道中)**